

文教厚生常任委員会記録

日 時 令和8年2月9日（月曜日）13時30分～13時55分

場 所 議員控室

出席者 阿部委員長、磯野副委員長、平山委員、舟見委員、村上委員、村田議長
葛西学校管理課長、佐々木学校管理課長補佐、田口建設課建築係長

オブザーバー 工藤議員、逢坂議員

事務局 鈴木局長、嶋元係長

阿部委員長

それでは、時間となりましたので、ただいまから文教厚生常任委員会を開催いたします。

本日の調査案件は、焼尻小中学校改修工事についてを調査いたします。

それでは、担当課より説明をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

1 焼尻小中学校改修工事について

担当課説明

説明員 葛西学校管理課長、佐々木学校管理課長補佐、田口建設課建築係長

葛西学校管理課長 13:30～13:39

改めましてこんにちは。今日は急な案内ということでしたけれども、お集まりいただきましてありがとうございます。今日の説明内容につきましては、焼尻小中学校の改修工事ということになりますけれども、今日教育長、所用により不在のため私と佐々木補佐、それから建設課の技師の田口係長、3人で対応させていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、引き続き私のほうから説明させていただきます。着座にて失礼いたします。それでは、まず最初これまでの経緯についてであります。これまでの常任委員会において何度か説明をさせていただいておりますけれども、焼尻小中学校の施設整備につきましては当初改築というような方向で進めてきましたけれども、それを断念しまして、改修の方向で進めております。町の財政状況、それからほかの公共事業との比較の中での優先度等を踏まえて、危険箇所の解消をはじめ雨漏り、それから設備の劣化等緊急性の

高い不具合箇所を優先して改修する方針として、これまで設計業務を進めているところ
であります。先週設計業務を委託している業者のほうから工事金額の提示がありまして、
すぐに財務課を含めて理事者へ報告しまして、協議を行った結果、現時点の設計内容で
事業を進めるというようなことについて了承をいただいたので、今日説明をさせていた
だくものであります。

なぜ今日このタイミングでというところなのですがけれども、当初今月の24日に予定さ
れている常任委員会の中で説明をさせていただいて、そして3月定例会で補正をという
ようなスケジュール感で考えていたのですがけれども、今回工事金額が明らかになったと
いうことで、できるだけ早期に予算措置をさせてもらって、そして速やかに入札を行っ
て、工事着工につなげたいというような考えがまず1つあります。

それから、もう一つ、財源の関係になりますけれども、後ほど詳細説明いたしますけ
れども、先日財務課のほうに過疎対策事業債の所要額調査という調査がありまして、そ
の中で令和7年度、今年度の国の過疎債に係る予算において10億単位の不用額が発生し
ているということで、今年度の事業で対象になる事業があるのであれば申請してくださ
いというような旨の通知がありました。それを受けて、今回の焼尻の改修工事がもとも
と過疎債を充当予定でございましたので、8年度で申請するよりも7年度予算で申請した
ほうが満度に配分される可能性が高いだろうというふうに判断したところであります。

そういったこともあって、金額が提示されてから期間短くなってしまったのですけれ
ども、しあさってですか、12日の臨時議会の中で提案させていただくというようなこと
でございます。当然臨時議会の前に常任委員会のほうに説明させていただかなければな
らないというふうに私ども考えていましたので、急遽委員長のほうに相談させてもらっ
て、今日この説明の場を設けさせていただいたというようなことであります。

資料のほう戻っていただきまして、工事の内容です。まず、校舎と調理場の屋根の張
り替え工事になります。それから、校舎内給排水設備の改修ということで給水管の更新、
そのほかトイレ、それから給湯設備の更新といったことになります。それから、照明器
具の更新ということで、児童・生徒が使用する普通教室、それから職員室、それから校
長室を基本としつつ、特別教室等で不具合出て故障している箇所がありましたので、そ
ういった照明をLED化するというような中身になります。それから、空調設備という
ことでエアコンになります。これは、児童・生徒が使う普通教室、それから職員室、校
長室、それから保護者等も含めた学校行事で頻繁に家庭科室を使うということで、1か
所だけ特別教室に設けるというような設計になっております。それから、床のPタイル
の貼り替えです。これについては、今回の工事から切り離して、令和8年度の早い段階
で予算措置を行いたいというふうに考えております。これは、概算で100万円程度になる

かなというふうに考えております。

次に、3番目の工事の金額になります。工事費の合計2億8,820万となっております。財源につきましては、全額過疎債を充当する予定でありまして、過疎債につきましては7割が交付税措置ということになりますので、2億174万円が交付税措置、残りの8,646万が実質的な町の負担額というふうになります。過疎債の償還は12年を予定しておりますので、年間の実質負担額はおおむね700万円程度になるというふうに見込んでおります。担当課としましては、今言ったように、年間の負担額は必要最小限でありまして、今後の町財政の中でも無理のない範囲で対応できるのではないかと考えております。

最後、スケジュールです。今回の工事は、予算措置を承認をいただいた後すぐ入札に係る工事、業務ということで建設課に発注を依頼しまして、進める予定でおります。建設課のほうともスケジュール調整しまして、一応今の現時点での予定ということで多少の前後の可能性はあるということでご了承いただきたいというふうに思います。まず、12日木曜日、臨時議会で予算の提案をさせていただきます。今年度中の工事完了というのは見込めないものになりますので、繰越明許費という形で上げさせていただきます。翌日13日、公募型の指名競争入札の公告ということで、これは通常町の指名名簿に登録されている業者をピックアップして指名するという形ではなくて、一旦参入希望者に公募をかけます。希望があった事業者に改めて指名をするというような流れのものになります。その公告を13日に行って、10日間程度期間を見まして、入札参加者の受付を締め切りまして、資格の審査をします。翌日25日にその参加の事業者へ入札の案内の通知を出すということになります。そこからまた10日間程度期間を見まして、入札を執行、それから翌日10日、仮契約を結びまして、13日、定例会の中で、5,000万以上の工事ということになりますので、業者の承認をいただきまして、週明けの16日、契約締結というようなスケジュールで考えております。実際に工事につきましては契約締結後すぐ準備に入るのですが、現場での作業はおおむね連休明けぐらいから始まるのかなというふうに考えております。完了はフェリーが1便ある9月を目指すのですが、一応多少前後、スケジュールどおりいかない部分もあろうかと思っておりますので、できれば最悪でも10月の末を目途に完成できればなというふうに考えております。ただ、その後のいろいろ書類の整理とかもありますので、契約上の工期自体は年度末まで設けたほうがいいのかなというふうに考えております。

以上が今回の説明であります。よろしくお願いいたします。

阿部委員長

それでは、説明をいただきましたので、ただいまから質疑に入りたいと思います。質問のある方は、挙手にてお願いいたします。

－主な協議内容等（質疑）－ 13:39～13:55

磯野副委員長 内容については分かりました。スケジュールについても財源についても説明を受けました。5月ぐらいからかかって、大体9月をめどにということで、どのぐらいの作業になるかは結構詰まったハードな作業なのかなという想像はするのですけれども、島の場合、天売がまだやっている最中なので、ちょっと心配しているのが、そういう天売と同時スタートしたときにやはり一番心配するのは物資の、骨材とか搬入ということ、その辺は当然想定の中に入っているのでしょうかけれども、その辺のところは当然試算というか、想定をしてみたということで、という判断でよろしいですか。

葛西課長 業者を決定するのはこの後入札をかけてというようなことになりますので、契約締結後すぐそういった協議に入るというような流れになろうかと思えますけれども、我々もその辺当然天売との工事とかぶるというようなことは事前に認識しておりますので、そこは契約の締結後すぐ天売の工事とこっちの焼尻の工事の情報共有した中で、そういう島民の方々の生活に支障ないようなスケージュリングした中で工事を進めていければなというふうに思っております。

磯野副委員長 それと、もう一点、5月開始で完了10月ということは、一気にやってしまうという考え方。前にいただいたマネジメント計画のアクションプランだと1年置いてということがあったのですけれども、そうではないというふうな理解でしょうか。

葛西課長 当初どういった工事をやらなければならないのかというのは、設計の中で調査した中で決めていくというような考えでございました。いろんな工事、全ての工事をやると、やっぱりそれなりに工事の量が増えます。当然そうすると複数年の工期を見込まないと終わらないだろうというものもありましたけれども、今回その中でもなるべく単年度で実施できる工事

内容というようなことで、本当に最優先すべき箇所に絞って工事をやるというような考え方で今回の積算をしておりますので、今回の工事は単年度で終了というようなことで考えております。

磯野副委員長 分かりました。それやった後にまた追加のものが出てくるという想定もありということ。最優先でやる。だけれども、やった後にやっぱりこっちもそうだよねというのが出てくるという想定ということ。

葛西課長 当然今回ここまで固める中で、実は最初にもっと金額が、工事内容ももっと多くて、そして金額も膨らんでいたというような経過もありました。ただ、本当に今危険度が高いとか、実際に雨漏りして不具合出ているとか、そういうようなところ、緊急性の高いところと、あとやっぱり財源の部分の調整をした中で今回できるのが今回提示の内容ということなので、今回これでやりますけれども、実際に工事が終わって学校運営する中でやっぱりどうしてもまだ不具合が収まらないとか、そういったことが出てきましたら、それはこれまでの通常の管理と同じように予算要求をして、随時対応できればなというふうに思っています。今回の大がかりな工事としては、今回提案する内容ということで考えております。

村田議長 確認もあるのですけれども、小さいことからいろいろとちょっと何点か聞きたいと思います。
まず、2番目の工事内容は理解しているのですけれども、一番下のタイルの貼り替えを8年度予算というふうにしたのは、何か理由があってここに一緒に入れられなかったのか、どういう理由なのかちょっとまず教えて。

葛西課長 このPタイルについては、まず実際に剥がれているところがあるということで、低学年がいる学校ということで、必要性が高いというふうに思っております。どういう形であれまずやらなければならないだろうというような工事内容です。あと、やり方の部分になるのですけれども、工事内容としては比較的、タイルを貼るというだけなので、単純な作業になるということがまず1つあって、地元の業者で発注したいというふうに考えております。また、原状復旧というような修繕の中身になりま

すので、今回の過疎債にはこの工事の部分は対象にならないので、そういった意味もありまして、分離しております。そして、工期も比較的短く済みますので、8年度に入って、6月議会とか、そういったタイミングで補正で上げさせていただければいいなというふうに考えたところです。

村田議長 理解しました。説明の中で過疎債が国の中で執行残があったということで、それは間違いなくつくでしょうから、ただそこで気になるのが7年度の過疎債を使えるということ、それ非常にいいことだと思うのですけれども、そのためにと言ったらいいのか、今後のスケジュールの予定の中で、12日に臨時議会ありますので、まずは予算を出して、オーケーして、契約の締結をして、そこいく間のスケジュールがちょっとあまりにも短い期間で進めていかなければならないような状況の説明です。そういう中で例えば、これ例えばの話なのですけれども、公募したときに10日間ではなかなかなかったり、この期間で無理、また延長するとかいったようなことが起きて、起きなければいいのですけれども、起きて、最終的にこのスケジュールで合わなくて、令和7年度の過疎債の事業債に乗っかれなくなってしまうのかなという、そういうところの私としてはちょっと不安があるのですけれども、そういうところの部分というのももし起きた場合、起きないことを祈っているのですけれども、そうすると1年遅れで令和8年度にこれをまた持っていくという考えなのか、改めて……優先順位は高いので、どうしても8年度、過疎債が恐らくまた8年度だと全国取り合いになるような可能性は多いので、その中でやっぱり進めていかなければならないのかなと思うのですけれども、そこら辺の不安的な部分ってないのか。ここまで例えば業者確定して、締結さえしてしまえば、要は来年度に着工できるわけですから、いいのですけれども、この部分はちょっとどうもスケジュール的にあまりにも短過ぎて、大丈夫かなというところがあるのです。そこら辺分かる範囲というか、思っている範囲でもいいのですけれども、大丈夫って言ってくれれば一番いいのですけれども、そこら辺ちょっとあれば答弁お願いしたいです。

葛西課長 今の段階で100%大丈夫ということは言えないのですけれども、やはり何

らかの理由で業者決定が延びて、契約を今年度中にすることができないというふうになってしまったら、8年度での申請になるのかなというふうには思います。ただ、今回、今設計業務やっていますけれども、以前にも説明したかと思うのですけれども、通常こういう工事の設計に当たっては北海道の道単価、そういうものを使ったりとか、標準のそういう単価を参照しながら積み上げて積算していくというようなやり方で工事価格を設定していきます。今回につきましては、天売のときに経験しておりますので、そういった通常の設計の仕方だとやはり入札に参加してくる業者がなかなか難しいだろうというのも想定されておりましたので、設計の中で設計業者のほうで実際に工事をできるであろう、それぞれ建築の業者ですから、電気だとか水道だとか、そういったところの市場調査をして、実際にできるというような見込みの中から金額をはじき出して、それを積み上げて、今回の工事金額を出しておりますので、私たち担当課としてはスケジュールどおり入札を行うことで業者は決定できるのではないかというふうに思っておりますので、そういった心配は当然思っていますけれども、大方は大丈夫だというふうに確信をしているところです。

阿部委員長 ほかがございませんか。(ないんじゃないですか。の声)ないので、私からも確認というか、今回優先的に直すところは直すということで、今後また新たに何か不具合等があれば追加でやるということですが、優先してやるべきところというのは児童・生徒であったり、学校の先生方が使うに当たって非常に必要な部分をまずは直していくのかなといった印象ですが、やっぱり近年資機材がなかなか調達ができないということで、今回この工事に関しては令和8年度中、契約期間としては令和8年、単年度だと思うのですけれども、場合によってはどうしても遅れてしまうのかなというちょっと個人的な不安もあるのですけれども、その辺というのは契約期間は単年度ですが、状況、状況によっては工期を延長するだとか、そういったことも考えられるのか、あくまでも設計する段階でいろんな関連業者さんの部分確認しながらの設計だと思いますので、その辺の見込みというのを聞きたいなと。

葛西課長 今委員長のほうからおっしゃられたとおり、確かに部品というか、材料

によつては、特に電気関係なんかは納期がすごく何か月もかかるという
ような話も聞いていたので、全て設計の中で調達する材料等は事前にち
ゃんとどのぐらいで納品できるのかというのは調査した上で、納期の中
で納品可能なものでやってくださいというようなことを伝えながら設計
していますので、そこは工期の延長ということではなくて、今回提示す
る期間の中で実施可能だというふうに考えております。

阿部委員長 分かりました。できるだけ工事、契約期間内で終わっていただければ、
例えば工期が延長するとなるとまた別の経費等もかかってくると思いま
すので、2億8,000万以上、実質かかるのが8,600万ということですね
ども、過疎債の。できるだけ材料も少しでも抑えられるような形で発注し
ていただきたいと思います。

あと、委員のほうからも天売の複合施設の絡みもあって心配もされてい
ましたので、天売のほうでも資材運搬のほうでなかなか苦労されている
ということで、工事も順調には進んでいるのでしょうけれども、なかな
か苦労している部分もあるといった話も聞いていますので、そういった
ところも、先ほど課長のほうからも焼尻小中に関しては決まったら天売
のほうとも調整しながら進めていきたいという、当然業者同士でも進め
るでしょうけれども、そういったところも改めて伝えていっていただき
たいと思います。当然フェリーの部分で、フェリー会社さんのほうにも
どの程度融通利かせてもらえるか分かりませんが、そういった部
分もかなり工事については影響してくると思いますので、そういったと
ころも可能な範囲で対応していただきたいと思いますので、よろしくお
願ひいたします。何かあればお願いします。

葛西課長 先ほど言ったように、業者が決まり次第すぐその辺は情報共有しながら、
全て沿海フェリーのほうで物運ぶとなると、やっぱり島民の方にも少な
からず迷惑かかるというようになりますので、可能な限り台船だとか、
そういったものも活用しながら迷惑のかからないようにスケジュール、
運搬計画を立てながら進めていければと思っております。

阿部委員長 分かりました。できるだけ予定どおり進んでいただければなと私個人と
しては思っていますので、よろしくお願ひをいたします。

ほかございませんか。(なし。の声) ないですか。ないようですので、以上をもちまして本日の委員会は終了いたします。お疲れさまでした。